報道機関各位

学校法人
追手門学院

プレスリリース　No.33
2026 年 11 月 12 日配信

〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1　　URL: https://www.otemon.ac.jp/

初コラボに学生ら期待膨らませ心待ちに
茨木市と追大生が初タッグ！12 月 4、5 日演劇公演





追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）の舞台表現プロジェクト（通称：STEP）は、2026 年 12 月に開催する第 17 回公演において、初めて茨木市とタッグを組んだ演劇作品「鏡のなかのイバラキ」を茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）にて上演いたします。10 周年を迎える節目の年でもあり、初めて学外から劇作家を招き、地域密着型のオリジナル舞台を創り上げます。

【記事のポイント】

○ 追大×茨木市初タッグし、茨木市内のホールで上演
○ 学生が街の記憶や台風被害を取材し舞台化
○ STEP10 周年記念に初の外部劇作家起用

STEP は、学生が主体となり、演劇活動を通してコミュニケーションスキルや他者との協働力を学ぶ大学公認プロジェクトです。17 回目となる今回の公演では、茨木市の歴史や人々の日々の暮らしをモチーフにした演劇を披露します。

脚本の指導と監修並びに演出を担当するのは、大阪府出身の劇作家ごまのはえ氏。本作では、過去 80 年間に市内で撮影された景色や人々の表情の写真から、学生たちが自由な発想でエピソードを創作。それらをごまのはえ氏が編みなおし、ひとつの舞台作品へと立ち上げました。

作中には市内の商店街や神社、街並みが登場するほか、過去に大きな被害をもたらした台風の記憶なども取り入れられています。学生たちは作品に登場する神輿（みこし）や街の歩みへの理解を深めるため、自ら地元の神社や商店街を訪れて取材を行い、役作りに活かしてきました。

演出面でも、ごまのはえ氏が舞台上での具体的な体の動かし方などを丁寧に指導。制作を担当する川上綾太さんは「ごまのはえさんからの『地元の方々に分かりやすく、そして市の魅力を再発見してもらえるような舞台にしよう』という言葉を胸に、素晴らしい舞台にしたい」と熱く語ります。役者として出演する増根咲李衣さんは「初めての学外での公演で不安もありますが、気合を入れて頑張りたい」と話し、問屋哲志さんは「茨木市と共創して取り組めることがとても嬉しい」と本番に向けて期待を深めています。

【公演概要】
タイトル：　『鏡のなかのイバラキ』
上演日程：
2026 年 12 月 4 日（金）　18:30 開場 / 19:00 開演
2026 年 12 月 5 日（土）①10:30 開場 / 11:00 開演（※終演後にトークセッション実施）
②15:30 開場 / 16:00 開演
会場：茨木市市民総合センター クリエイトセンター（大阪府茨木市駅前 4 丁目 6-16 2F）
主催：追手門学院大学社会学部
共催：茨木市、公益財団法人茨木市文化振興財団

協力：追手門学院大学社会学部社会文化デザインコース

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】　追手門学院 広報課　　TEL：072-665-9166　織田・所